

与良川統合排水機場建設工事受注企業による コウノトリのヒナへの足環付け等作業への協力について

令和3年5月
栃木南部農業水利事業所

当方国営事業の主要工事施設である与良川統合排水機場の建設地に隣接する渡良瀬遊水地第2調節池では、小山市が設置した人工巣塔において、2018年から飛来し始めたコウノトリ「ひかる」（雄5歳）が、2020年11月頃から「レイ」（雌2歳）とカップルとなり、2021年3月29日（孵化推定日）に3羽のヒナ（うち、1羽は親鳥の間引き行動により死亡）が2年連続で誕生しました。

この野外繁殖によるコウノトリのヒナの誕生は、1971年に国内野生コウノトリが絶滅以降、2歳という若さの雌のコウノトリが産んだ卵の孵化は昨年と併せて、東日本で2例目となり、同市が渡良瀬遊水地の「湿地の保全」と「賢明な利用」の一環として掲げてきた「コウノトリ・トキの野生復帰」への長年の取り組みの成果です。【わたらせ自然ミュージアム <https://www.watarase-museum.net/>】

42日齢の2021年5月10日（月）に、個体識別のための足環装着及び検体採取（※）が実施されました。同作業においては、昨年に引き続き、同市から同機場建設工事の受注者である前田建設工業（株）に高所作業車の手配および操作について協力要請があり、無事に遂行されました。

同年5月22日（土）には、同市から同社へ感謝状が贈呈され、また、2羽のヒナには「りょう」（雄）、「のぞみ」（雌）と命名されました。当事業所としては、事業実施に際し、今後もこのような豊かな自然生態系の保全に配慮してまいります。

※＜作業の目的＞

○コウノトリの個体番号が書かれた、異なる組み合わせの色の足環を装着することにより、個体の識別が可能となり、個体の生態等を詳しく把握・調査することができます。

○足環装着に併せて検体採取を行うことにより、ヒナの健康状態や性別が分かります。



高所作業台によるヒナ捕獲



足環装着等作業



ヒナの命名式



与良川統合排水機場建設工事の受注者である
前田建設工業（株）への感謝状贈呈